

**国語****名前**

取り組んだ日付を記入しよう。取り組めなかったものには×をつけよう。

基本メニュー (☆☆☆) 全員が必ずやるべきもの	日付
① 3年生の漢字の復習 (ご自宅にある参考書や学校で使用しているテキスト等で構いませんので、3年生までに習った漢字の復習をしておいてください。第3回授業から始まる漢字テストに向け、次回国語授業時に漢字練習プリントを配付します。)	
② 第1回 宿題その一(知らなかった言葉がでてきたら、意味までふくめて覚えましょう。)	
③ 第1回 宿題その二(空欄の前後を読み、手がかりに線を引いて解きましょう。)	
④ 第1回 宿題その三(解答の手がかりや問題の条件等に線を引いて解きましょう。)	
⑤ 第1回 授業でメモしきれなかった部分を、後から思い出して追記しておく。	

応用メニュー (☆☆) 余裕があればやるもの	日付
① 第1回 授業で解いた設問の復習 [記述] (×または空欄だった問題はメモを見ながらでよいのもう一度自分の力で書いてみましょう。次の国語授業時に提出があれば添削して返却します。)	

**語彙動画**

語彙に興味を持って親しんでもらうことを目的とした動画を紹介しています。動画を見るのが宿題というわけではないですが、動画で映像を見ることを通じて、語彙に親しみ、面白さに触れてもらったり、意味の理解を深めていったりしてほしいと思います。

**語彙コント**

語彙動画の視聴を習慣化して、楽しく語彙を増やしましょう。  
毎朝1本ずつ見るとよいでしょう。

**担当からの連絡**

4年生は、物語文を用いて、文章を読むツールを身につけていく期間となります。とはいえ、「〇〇は必要な考え方だから、覚えなさい。」という授業では、本当に身につけることができるか・使いこなせるようになるか、という点で疑問が残りますし、国語嫌いを作ってしまうリスクもあります。そこで、ジーニアスでは、楽しみながら自然とそのツールに触れ、身につけていけるようなスタイルで授業を進めていきます。今日授業から帰ってきて、「楽しかった」と言ってほしいと考えています。今日の話について、だれが出てきたのか、どんなことをしたのか、どんなことを話したか、といった内容を本人に話させ、説明できたところをほめてあげてください。内容を思い出すことが復習になります。また、他者に伝えようとして話す内容をまとめることが、文章内容の重要度を吟味する訓練になります。

また、自分の体験したこととも関連付けて考え、その上で記述するという意図の、100字以内での記述問題を設けています。こういった設問では、字数ともあいまって、解答欄を埋めるのが容易ではないという場合もあります。そういうときでも、まずは講師の話や他の生徒の発言等を参考に、「少しでも書いてみる」という姿勢で問題にあたってほしいと考えています。第2回以降も出題していきますので、そういった記述問題の経験を積んでほしいと思います。原稿用紙のマスの使い方は異なる点がありますので、記述のマスの使い方を掲載しています。

教材冊子の末尾に、宿題を三種類掲載しています。宿題その一は心情語に関する語彙を増やすこと、宿題その二はできごとから心情を考えること、宿題その三は文章内容の復習と問題を解く感覚を養うことを目的としております。いずれも読解力の土台となりうる部分ですので、意味を調べたり線を引いたり等をしながらいり取り組みましょう。